

危機管理、危機対応の在り方を見直す

～身の回りには様々な危険が潜んでいることを再認識して～

1学期も残すところ3週間となりました。7月は1学期のまとめの月です。先週末から個人懇談がはじまり、お子様がこの1学期にしっかり取り組めたことやもう少し努力してほしいことなどを、ご家庭やホームと学校の間で確認し、2学期に繋げていただけたらと思います。

さて、6月18日に発生した大阪府北部地震において、本校では様々な課題がありました。避難誘導の在り方、保護者への連絡、引き渡しの在り方など、今後見直していくべきことが多々あります。危機管理・対応マニュアルにおいても見直しを図るだけではなく、「災害には同じパターンはない」ことを踏まえ、その時、その場で、私たち教職員が的確な判断ができるような能力を高める必要があります。また、子どもたちに対しても、危険を予測し、危険に対応できる力を育むことが大切であると考えています。改めて、私たちの身の回りには様々な危険が潜んでいることを認識しておく必要があります。

今後、引き渡しカードの作成、運用や定期的な通学路の安全確認など、保護者や地域のみなさまには、様々な面でご協力をお願いすることになるかとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

子どもの力を伸ばす言葉がけとは・・・

～子どもとのコミュニケーションから～

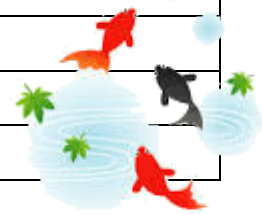
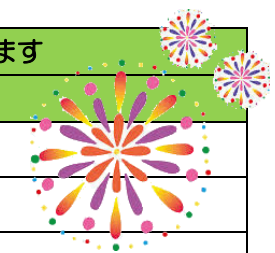
先日「子育て・こどもとのコミュニケーション」をテーマに民生委員児童委員さんと本校PTAとの交流会がありました。ある調査によると、小学生の子どもをもつ保護者を対象に、「今より子どもとコミュニケーションをとりたい」と考えている保護者は78.8%、「ほめる、叱るの理想の割合」を7：3と考えている保護者が圧倒的であったことに対し、「現実のほめる、叱るの割合」は4：6でした。交流会の中でも、「うまくほめることができずに叱ってしまうことが多いけれど、子どもを否定せず、意識的にほめるようにしたい」という意見も出ました。

子どもをほめることは子どもに自信をつけさせることになり、それは「ワンステップ上のことにチャレンジする意欲」へとつながっていきます。言葉がけとして、「結果ではなく、努力した過程をほめる」「具体的なこと(行動)をほめる」「きょうだいや友人と比べるのではなく、過去の本人と比較してほめる」ことが大切だと思います。授業や行事等の学校生活において、子どもとコミュニケーションを図る際に心がけたいものです。ご家庭やホームにおきましても、「子どもの力を伸ばす言葉がけ」を考えていただけたらと思います。

(校長 辻本堅二)

7月・8月行事予定 放課後学習の学年は②③の記号で表しています

7月			8月		
1	日	町内一斉清掃	1	水	
2	月	個人懇談会②・SC来校日	2	木	
3	火	個人懇談会③・給食費引落・いのちの教育5年	3	金	
4	水	個人懇談会④	4	土	しまもと祭
5	木	個人懇談会⑤	5	日	
6	金	個人懇談会予備日・SSW来校日	6	月	
7	土	竹鉄砲	7	火	
8	日		8	水	
9	月	委員会活動・②③	9	木	
10	火	4年生6限研究授業 他学年14:25下校	10	金	
11	水	クラブ・SC来校日(午前中のみ)	11	土	山の日
12	木	w	12	日	
13	金	5,6限5年PTA行事	13	月	
14	土		14	火	
15	日		15	水	
16	月	海の日	16	木	
17	火	SC来校日(午前中のみ)	17	金	
18	水		18	土	
19	木	給食最終日	19	日	
20	金	終業式・SSW来校日	20	月	
21	土		21	火	
22	日		22	水	
23	月	水泳①	23	木	
24	火	水泳②	24	金	
25	水	水泳③	25	土	
26	木	水泳④	26	日	
27	金		27	月	始業式 給食開始は9月3日です
28	土	第2回学校協議会	28	火	
29	日		29	水	
30	月		30	木	
31	火		31	金	



授業参観と6月のアルバム

たくさんの方に参観していただきありがとうございました。

1 - 1 算数 1 - 2 算数 1 - 3 算数 6 - 1 算数

2 - 1 国語 2 - 2 国語 2 - 3 国語 6 - 2 算数

3 - 1 社会 3 - 2 社会 3 - 3 社会 6 - 3 算数

4 - 1 国語 4 - 2 理科 5 - 1 総合 5 - 2 国語

安全ボランティアさんと1年生との交流給食 お話会

お知らせ たんぽぽ学級⑦の担任齊田杏菜は産前休業に入ったため、5月25日より担任は野路翔啓(のじ しょうけい)が務めています。
電気主任技術者の山本貴雄さんは退職され、北野治さんにかわられました。

二小フェスティバル

15日に開催しました。みんなで協力してコーナーを作り上げました。

民生児童委員さんとの交流会

子育ての悩みを出し合い、アドバイスをいただきました。

コラム

「銃・病原菌・鉄」ジャレド・ダイヤモンド著

もし何かの事故でジャングルに投げ出されたら、生き抜く自信はありますか？飲み水の見つけ方、食用植物の見分け方、豪雨の凌ぎ方、有害生物の撃退法などこなさねばならない課題は山積。一方現地の人は何十種類ものキノコを見分けたり、つる草を切って水を飲んだりしています。先進国の住民にはかなわない知恵をもっている証拠です。

という訳で、熱帯に住む人は知能の面で高い能力をもっている、と作者は訴えます。では何故現在まで近代文明や農耕が根付かなかったか、という疑問に対しては、熱帯なので穀物の栽培が適さなかったことと、家畜がいなかったことを理由として挙げています。

コメやムギの農耕は東西には伝播しましたが、南北には伝わりづらいものです。野獣が来たら吠えて知らせる犬は北方系ですし、シマウマは気が荒くてヒトは乗りこなせません。象は出産をコントロールできず、時として凶暴になるため家畜とみなせません。 (教頭 篠塚能和)